

人名	回数	番、題				特徴
浅野喜市	1	67:かわいそくに				
櫛枝の与平	1	25:七十五日の断食				櫛枝村
泉田藤吉	4	64:やんわり伸ばしたら	103:間違いのないように	114:よう苦労して来た	186:結構なものを	
板倉槌三郎	1	56:ゆうべは御苦労やった				
井筒梅治郎	7	71:あの雨の中を 75:これが天理や	76:牡丹の花盛り 82:ヨイシヨ	108:登る道は幾筋も 119:遠方から子供が	165:高う買うて	
井筒貞彦	1	56:ゆうべは御苦労やった				
井筒たね	2	71:あの雨の中を	76:牡丹の花盛り			梅治郎の娘
飯降伊蔵	7	25:七十五日の断食 29:三つの宝	30:一粒万倍 31:天の定規	87:人が好くから 98:万劫未代	102:私が見舞いに	
飯降さと	2	87:人が好くから	125:先が見えんものや			
飯降政基	1	87:人が好くから				
飯降マサエ	1	87:人が好くから				
飯降よしゑ	4	109:ようし、ようし	111:朝、起されるのと	112:一に愛想	188:屋敷の常詰	後に永尾よしゑ
今川清次郎(聖次郎)	3	108:登る道は幾筋も	129:花疥癬のおたすけ	165:高う買うて		
今川ヤス	1	129:花疥癬のおたすけ				聖次郎の長女
今田太郎兵衛	1	86:大きなたすけ				小路村
上田いそ	1	61:廊下の下を				民造の母
上田おなか	1	61:廊下の下を				民造の妻
上田嘉治郎	1	48:待ってた、待ってた				
上田民蔵	1	193:早よう一人で				
上田藤吉	1	82:ヨイシヨ				
上田ナライト	3	48:待ってた、待ってた	55:胡弓々々	74:神の理を立てる		
上原イシ	1	81:さあお上がり				佐助の妹 後に辻川イシ
上原佐吉	1	81:さあお上がり				佐助の伯父
上原佐助	2	81:さあお上がり	127:東京々々、長崎			
宇野善助	2	105:ここは喜ぶ所	141:ふしから芽が出る			
宇野美紗	1	105:ここは喜ぶ所				善助の妻
梅谷梅次郎	1	116:自分一人で				四郎兵衛の息子
梅谷四郎兵衛	13	5:流れる水も同じこと 19:子供が羽根を 22:おふでさき御執筆	82:ヨイシヨ 92:夫婦揃うて 106:蔭膳	116:自分一人で 123:人がめどか 126:講社のめどに	159:神一条の屋敷 170:天が台 184:悟り方	198:どんな花でもな
梅谷タカ	1	107:クサはむさいもの				四郎兵衛の長女 後の春野タカ
梅谷タネ	3	92:夫婦揃うて	106:蔭膳	107:クサはむさいもの		四郎兵衛の妻
梅谷みちゑ	1	184:悟り方				四郎兵衛の次女
榎本栄治郎	1	42:人を救けたら				
榎本きよ	1	42:人を救けたら				栄治郎の娘

大浦なか	1	182:元の屋敷					伝七の妻 大和国笠間村
岡田ワサ	1	40:ここに居いや					与三郎の姉
岡本栄太郎善六の長男	1	86:大きなたすけ					善六の長男
岡本カン	1	86:大きなたすけ					善六の末女 後の加見ゆき
岡本シナ	2	86:大きなたすけ	91:踊って去ぬのやで				
岡本重治郎	1	86:大きなたすけ					
岡本善六	1	86:大きなたすけ					
おきみ(おはる)	2	2:お言葉のある毎に	6:心を見て				
男衆の為八	1	36:定めた心					
おまさ	3	2:お言葉のある毎に	193:早よう一人で	200:大切にするのやで			
梶本ウノ	1	193:早よう一人で					宗太郎の母
梶本惣治郎	1	6:心を見て					
梶本惣治郎の母	1	6:心を見て					
梶本宗太郎	3	113:子守歌	192:トンピトート	193:早よう一人で			松治郎の長男
梶本権治郎	1	181:教祖の茶碗					
梶本ひさ	8	110:魂は生き通し 113:子守歌	126:講社のめどに 150:柿	157:ええ手やなあ 168:船遊び	169:よう似合うやろな 193:早よう一人で		後に山沢ひさ
片岡吉五郎	1	199:一つやで					兵神真明講周旋方
加見きみ	1	167:人救けたら					兵四郎の長女
加見つね	2	34:月日許した	167:人救けたら				兵四郎の妻
加見兵四郎	3	34:月日許した	167:人救けたら	182:元の屋敷			
喜多治郎吉	2	79:帰って来る子供	178:身上がもとや				
久保小三郎	1	135:皆丸い心で					
久保権治郎	1	135:皆丸い心で					小三郎の息子
熊さん	1	33:国の架け橋					大和の布留
鴻田さき	1	95:道の二百里も					忠三郎の妻
鴻田忠三郎	3	62:これより東	95:道の二百里も	144:天に届く理			
鴻田りき	1	95:道の二百里も					忠三郎の娘
こかん	6	7:真心の御供 14:染物	25:七十五日の断食 37:神妙に働いて下されます	43:それでよかろう 110:魂は生き通し			
小西イエ	1	100:人を救けるのやで					定吉の妻
小西定吉	1	100:人を救けるのやで					
小松駒吉	1	103:間違いのないように					
小山お蝶	1	145:いつも住みよい所へ					弥左衛門の娘
小山弥左衛門	1	145:いつも住みよい所へ					
紺谷久平	2	140:おおきに	200:大切にするのやで				
紺谷たけ	1	140:おおきに					久平の妻
昆布屋の娘	1	172:前生のさんげ					堺の人
佐治登喜治良	1	146:御苦労さん					

沢田	1	141:ふしから芽が出る					斯道会
芝村の清兵衛	1	11:神が引き寄せた					西野?
島村国治郎	1	193:早よう一人で					旧.梶本
清水与之助	1	198:どんな花でもな					
秀司	6	25:七十五日の断食 27:目出度い日	46:何から何まで 65:用に使うとて	73:大護摩 110:魂は生き通し			
正善	1	110:魂は生き通し					
初代真柱	1	106:陰膳					真之亮
高井猶吉	8	70:麦かち 119:遠方から子供が	130:小さな埃は 131:神の方には	132:おいしいと言うて 151:をびや許し	173:皆、吉い日やで 195:御苦労さま		
田川寅吉	1	191:よう、はるばる					但馬国田ノ口村
立花善吉	3	94:ちゃんとお茶が	115:おたすけ一条に	119:遠方から子供が			
田中ならぎく	1	84:南半国					
谷岡宇治郎	1	166:身上にしるしを					菅原村
谷岡ならむめ	1	166:身上にしるしを					宇治郎の娘
玉姫	1	110:魂は生き通し					
辻おこよ	1	6:心を見て					忠作の姉
辻おりう	1	9:ふた親の心次第に					忠作の母
辻忠作	6	52:琴を習いや 57:男の子は、父親付きで	62:これより東 65:用に使うとて	166:身上にしるしを 191:よう、はるばる			
辻とめぎく	1	52:琴を習いや					忠作の娘
辻ます	1	9:ふた親の心次第に					忠作の妻
辻由松	1	9:ふた親の心次第に					忠作の長男
土佐卯之助	6	88:危ないところを 99:大阪で婚礼が	149:卯の刻を合図に 150:柿	152:倍の力 175:十七人の子供			
土佐まさ	1	99:大阪で婚礼が					卯之助の妻
富田伝次郎	1	104:信心はな					
富田米太郎	1	104:信心はな					伝次郎の長男
中川文吉	1	75:これが天理や					
仲田かじ	1	35:赤衣					
仲田儀三郎	11	36:定めた心 39:もっと結構 41:末代にかけて	47:先を楽しめ 65:用に使うとて 126:講社のめどに	132:おいしいと言うて 136:さあ、これを持って 138:物は大切に	176:心の澄んだ人 199:一つやで		
仲田吉蔵	1	41:末代にかけて					儀三郎の孫
中西	1	141:ふしから芽が出る					斯道会
中西金次郎	1	186:結構なものを					
仲野秀信	1	174:そっちで力をゆるめたら					
中山コヨシ	1	125:先が見えんのか					重吉の妻
中山重吉	2	67:かわいそうに	191:よう、はるばる				
中山たまへ	1	134:思い出					
中山モト	2	134:思い出	193:早よう一人で				教祖の曾孫

灘谷すゑ	1	199:一つやで					本田せいの妹
西浦檜蔵	1	39:もつと結構					弥平の長男
西浦弥平	2	39:もつと結構	48:待ってた、待ってた				
西田コト	1	8:一寸身上に					
ヌクトウツルマツ 拙冬鶴松	1	67:かわいそうに					
端田久吉	1	199:一つやで					兵神真明講元
林九右衛門	1	183:悪風というものは					撰津国喜連村
林芳松	1	49:素直な心					
東尾	1	67:かわいそうに					
平野辰次郎	1	68:先は永いで					
平野トラ	1	189:夫婦の心					檜蔵の妻
平野檜蔵	2	188:屋敷の常話	189:夫婦の心				
深谷源次郎	4	141:ふしから芽が出る	142:狭いのが楽しみ	143:子供可愛い	148:清らかな所へ		
福井鶴吉	1	149:卯の刻を合図に					
藤田某	1	148:清らかな所へ					
藤村じゅん	1	104:信心はな					伝次郎の生母
本田せい	1	199:一つやで					兵神真明講周旋方
前川きみ	1	66:安産					喜三郎の長女
前川たけ	1	66:安産					喜三郎の妻
前田タツ	1	13:種を蒔くので					藤助の妻
前田藤次郎	1	13:種を蒔くので					藤助の息子
前田藤助	1	13:種を蒔くので					
増井幾太郎	1	36:定めた心					りんの長男
榎井伊三郎	4	16:子供が親のために	50:幸助とすま	122:理さえあるならば	137:言葉一つ		
榎井伊三郎(先代)	1	10:えらい遠回わりをして					
榎井おさめ	6	10:えらい遠回わりをして 16:子供が親のために	50:幸助とすま 57:男の子は、父親付きで	78:長者屋敷 161:子供の楽しむのを			伊三郎の妻 旧西尾ナラギク
榎井キク	4	35:赤衣	37:神妙に働いて下されますな	122:理さえあるならば	160:柿選び		伊三郎の母
増井とみゑ	1	36:定めた心					りんの長女
榎井マス	2	35:赤衣	50:幸助とすま				村田すま
増井りん	7	36:定めた心 44:雪の日	45:心の皺を 46:何から何まで	47:先を楽しめ 65:用に使うとて	77:栗の節句		
増野いと	1	145:いつも住みよい所へ					正兵衛の妻
増野正兵衛	1	145:いつも住みよい所へ					
松井けい	1	85:子供には重荷					
松井忠作	1	85:子供には重荷					けいの長男
松浦おみつ	1	166:身上にしろしを					菅原村
松尾市兵衛	3	25:七十五日の断食	26:麻と絹と木綿の話	27:目出度い日			
松尾檜蔵	1	27:目出度い日					市兵衛の長男
松尾ハル	4	18:理の歌	25:七十五日の断食	26:麻と絹と木綿の話	27:目出度い日		市兵衛の妻

松田サキ	1	156:縁の切れ目が					大和国五条野村で出生
松田やす	1	32:女房の口一つ					利平の娘 庄屋敷村・乾家へ
松村栄治郎	1	102:私が見舞いに					
松村吉太郎	1	190:この道は					
松村さく	2	23:たちやまいのおたすけ	102:私が見舞いに				栄治郎の妻
まつゑ	2	46:何から何まで	102:私が見舞いに				
的場しか	1	24:よう帰って来たなあ					彦太郎の母
的場彦太郎	1	24:よう帰って来たなあ					大和国仁興村
宮田善蔵	1	165:高う買うて					
宮森与三郎	7	40:ここに居いや(岡田の時)	70:麦かち 83:長々の間	95:道の二百里も 119:遠方から子供が	131:神の方には		
村上幸三郎	2	72:救かる身やもの	97:煙草畑				
村田イエ	6	44:雪の日 50:幸助とすま	51:家の宝 89:食べ残しの甘酒	162:親が代わりに 179:神様、笑うてござる			幸右衛門の妻
村田亀松	2	50:幸助とすま	51:家の宝				後に幸四郎
村田幸右衛門	3	50:幸助とすま	140:おおきに	200:大切にするのやで			
村田幸四郎	1	39:もつと結構					園原村
村田長平	1	121:いとに着物を					
森口せき	1	155:自分が救かって					又四郎の妻
森口鶴松	1	155:自分が救かって					又四郎の長男
森口又四郎	1	155:自分が救かって					大和国海知村
森本治郎平	1	100:人を救けるのやで					
諸井国三郎	4	117:父母に連れられて	139:フラフを立てて	151:をびや許し	187:ちば一つに		
諸井秀	1	187:ちば一つに					国三郎の4女
矢追こう	1	57:男の子は、父親付きで					喜多治郎吉の伯母
矢追こと	1	57:男の子は、父親付きで					権蔵の祖母
矢追仙助	1	10:えらい遠回わりをして					
矢追惣五郎	1	57:男の子は、父親付きで					権蔵の父
矢追なか	1	57:男の子は、父親付きで					権蔵の母
矢追権蔵	1	57:男の子は、父親付きで					
安良	1	141:ふしから芽が出る					斯道会
山沢為造	7	69:弟さんは、尚もほしい 74:神の理を立てる	80:あんた方二人で 90:一代より二代	96:心の合うた者 120:千に一つも	133:先を永く		
山沢良蔵	1	80:あんた方二人で					
山田いくゑ	1	121:いとに着物を					伊八郎の長女
山田伊八郎	5	84:南半国	101:道寄りせずに	121:いとに着物を	164:可愛い一杯	185:どこい働きに	
山田こいそ	5	59:まつり	63:目に見えん徳	84:南半国	101:道寄りせずに	121:いとに着物を	伊八郎の妻 いゑに改名
山田長造	1	58:今日は、河内から					
山田与三吉	1	58:今日は、河内から					長造の弟

山中その	2	11:神が引き寄せた	14:染物				忠七の妻
山中忠七	9	11:神が引き寄せた 12:肥のさづけ	14:染物 15:この物種は	20:女兒出産 21:結構や、結構や	28:道は下から 84:南半国	185:どこい働きに	
山本いさ	2	84:南半国	147:本当のたすかり				山田家の分家 与平の妻
山本耕三郎	1	62:これより東					藤四郎の次男?
山本しゆ	1	62:これより東					藤四郎の妻
山本多三郎	1	68:先は永いで					
山本藤五郎	1	62:これより東					藤四郎の父
山本藤四郎	1	62:これより東					
山本与平	1	147:本当のたすかり					山田家の分家
山本利三郎	8	33:国の架け橋 105:ここは喜ぶ所	126:講社のめどに 132:おいしいと言うて	141:ふしから芽が出る 149:卵の刻を合図に	191:よう、はるばる 200:大切にするので		
山本利八	3	33:国の架け橋	65:用に使うとて	158:月のものはな、花やで			
吉川万次郎	1	193:早よう一人で					